

8月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/08/16 (水)	東京はドル/円は116円はさみのレンジ相場。ただクロスでは欧州債入札に絡む動きなども見られた。欧米はドル弱含み。消費者物価だけでなくほかの指標も低調な内容となり嫌気したドル売りがかさんだ。	・アイスランドが金利を50BP引上げ ・ノルウェーが金利を25BP引上げ ・7月の米消費者物価指数0.4%、同住宅着工件数179.5万戸、同鉱工業生産0.4%、同設備稼働率82.4%	・7月13～14日の日銀政策委員会要旨公開 ・8月2～3日のBOE政策委員会議事録要旨「6対1で金利引上げを決定」	115.93 115.63 116.38 115.87	148.24 148.24 148.89 148.79	24H 寄付 安値 高値 終値
06/08/17 (木)	東京は次回FOMCで米金利据え置き見通しが高まったとの見方から引き続きドルが冴えない。欧米はドル続落で寄り付くも予想を上回るFF連銀指数を受けて基調一変。ドルは上値を試す展開に。	・7月の米景気先行指数 0.1%、8月のFF連銀指数18.5	・ダラス連銀総裁「連銀は金利に関して適性である行動をする」	115.75 115.19 116.18 115.98	148.76 148.29 148.88 148.78	24H 寄付 安値 高値 終値
06/08/18 (金)	東京は116円狭みで採み合い。ただ円はクロスで冴えず、対ユーロでは導入後安値をつける場面も。欧米は人民元切り上げ思惑などもあり一時ドル売り・円買いが進んだものの続かず。結局レンジ。	・中国が1年物貸出預金金利を27BP引上げ、19日から実施へ ・8月のミシガン大消費者信頼感指数78.7	・豪準備銀行総裁「豪ドル/米ドルは満足できる水準」 ・ラシアCEA委員長「米国は引き続き先進国をリード」	115.92 115.47 116.09 115.78	148.75 148.11 148.94 148.53	24H 寄付 安値 高値 終値
06/08/21 (月)	東京はとくに新規の材料もないなかドル安進行。ロシアで爆発報道とのニュースからドルは買い難い。欧米は高い開散のなか方向性に乏しい。とくにこの日は目立った材料もなく、狭いボックス相場へ。	・ロシアモスクワの市場で爆発との一部報道あり	・米大統領「イラン、ウラン濃縮停止要求を無視すれば国連安保理で結果が出る」	115.73 115.35 115.97 115.85	148.57 148.57 149.75 149.35	24H 寄付 安値 高値 終値
06/08/22 (火)	東京はクロスを中心とした円安進行。ドル/円相場も116円台へと上昇したが輸出売りに頭は重い。欧米は独経済指標が予想外の悪化となりユーロが急落。一方シカゴ連銀総裁発言からドルは買われ易い。	・第2四半期の仏GDP1.1% ・8月の独ZEW景気期待指数 5.6%	・独連銀総裁「ECBは利上げを急ぐ圧力を感じていない」 ・シカゴ連銀総裁「さらなる追加利上げが必要となる可能性がある」 ・アトランタ連銀総裁「連銀はインフレを抑制する」	116.05 115.99 116.85 116.54	149.31 148.95 149.70 149.21	24H 寄付 安値 高値 終値
06/08/23 (水)	東京はドル弱含み。発表された本邦貿易収支で対米黒字の拡大を材料としたドル売りが高む格好となった。欧米は小動き。発表された住宅指数が04年1月以来の低い水準になったもののドル売りも限定的。	・7月の貿易黒字8600億円 ・7月の米中古住宅販売件数633万件		116.45 116.10 116.63 116.39	149.03 148.76 149.34 148.84	24H 寄付 安値 高値 終値
06/08/24 (木)	東京はこの日も小動き。しかしクロスでの円売りは依然優勢。IFO指数が良好なものになるとの噂も。欧米は連日の弱い米経済指標発表からドル売り先行。しかし翌日のFRB議長講演期待もあり下げ渋り。	・8月の独IFO景気指数105.00、第2四半期GDP0.9% ・7月の米耐久財受注 2.4%、同新規住宅販売件数107.2万戸	・渡辺財務官「G7は9月16日にシカゴボールで開催される見通し」 ・メルケル独首相「イランの回答には不満足」	116.39 116.17 116.60 116.53	148.76 148.52 149.47 148.73	24H 寄付 安値 高値 終値
06/08/25 (金)	東京は期待を裏切る消費者物価指数を受けて円売り殺到。116円台半ばから117円台へ。欧米は日本の利上げへスが鈍化するとの思惑から円が冴えない。クロス中心に続落へ。	・7月の消費者物価指数0.2% ・第2四半期英GDP改定値0.8% ・NY市に暴風雨警報発令(のちに解除)	・中国人民銀行金融政策委員「中国の為替政策が大場に変更される可能性は低い」	116.65 116.53 117.41 117.28	148.85 148.79 149.81 149.57	24H 寄付 安値 高値 終値
06/08/28 (月)	東京は利食いと相思ドル売りから対ユーロ中心に対円でもドルは軟調。ただユーロは150円直前も。欧米はロンドン休場もあってか総じて動意薄。主要通貨はレンジ内の採み合いに終始。	・ロンドン市場が休場 ・ハンガリーが金利を50BPの引上げ	・藤井財務次官「デフレ脱却視野との認識に変わりはない」 ・フラット米財務省報道官「通貨価値は自由市場で決定されるべき」	117.27 116.86 117.28 117.22	149.64 149.61 149.98 149.80	24H 寄付 安値 高値 終値
06/08/29 (火)	東京は一部中国紙を受けたものが円買い優勢。ただユーロ/円は右方向の動きで初めて150円を突破。欧米は結果円高。ユーロ/円が達成感から円高に移すうえ、FOMC議事録がドルの失望売りを誘った。	・7月の完全失業率4.1% ・米FOMC議事録「8月の金利据え置きは僅差で決定」 ・8月の米消費者信頼感指数99.6	・一部中国紙「人民銀行が銀行の外貨預金準備率を3%から4%へ引上げへ」 ・谷垣財務相「対ユーロでの円安、よく注意して見ていきたい」	117.20 116.51 117.21 116.67	149.90 149.02 150.07 149.61	24H 寄付 安値 高値 終値
06/08/30 (水)	東京は月末ゴト一日などもあってかドル買い先行。前日欧米は冴えなかったユーロ/円は急反発の動き。欧米は発表された米経済指標は冴えなかったもののドル売りには繋がらず。ユーロなど欧州通貨主導の展開。	・スウェーデンが金利を25BP引上げ ・8月の米ADP全米雇用報告10.7万人、第2四半期の米GDP改定値2.9%、同コアPCE価格指数改定値2.8%	・ダラス連銀総裁「連銀の目標は低く予測のつくインフレにすること」 ・リッチモンド連銀総裁「8日のFOMC後もわたしは自分の見方を変えていない」	116.73 116.68 117.29 117.15	149.78 149.78 150.44 150.33	24H 寄付 安値 高値 終値
06/08/31 (木)	東京は円独歩安。鉱工業生産の悪化もあり、NZ/円などクロスを中心に売られると対ドルでも一段安推移。欧米はドルが小じっかり。途中調整と	・7月の鉱工業生産速報値 0.9% ・ECBが金利据え置きを決定 ・8月のシカゴ購買部協会指数57.1、7月の製造業受注 0.6%、同個人	・仏経済財務産業相「為替と金利を警戒している」 ・ECB総裁「本日は引き続き強い警戒が重要」	117.22 116.90 117.50	150.42 150.05 150.73	24H 寄付 安値 高値

思しきドル売りも見られたが続かず。 ドル/円は117円台の高値引け。	所得0.5%、同個人消費支出0.8%	・SL連銀総裁「コアPCEは1～2%が望 ましい」	117.40	150.44	終値
---------------------------------------	--------------------	------------------------------	--------	--------	----

* 製作・著作：「FXニュースレター」

URL： <http://www.fx-newsletter.com/>

FX-newsletter

FX-newsletter